

## Rapport annuel 2002 (平成 14 年度)

### 1) 学院関係行事 (2002. 3~2003. 2)

2002

- 3. 6 大学院入試
- 3. 15 「フランス文学論集」第 15 号発刊
- 3. 18 学位授与式  
修士：川見綾子 博士後期課程修了者：小溝佳代子
- 4. 1 本年度大学院非常勤講師  
大浦康介講師，清水正和講師，辻昭臣講師，松島征講師
- 4. 3 入学宣誓式  
博士後期課程入学者 なし  
博士前期課程入学者 (3 名) 中溝恵吏，新居延悦子，西岡杏奈
- 9. 1 短期交換留学生  
Marianne Bié→Christelle Veloso
- 10. 5 博士前期課程秋季入試

2003

- 1. 24 修士論文提出者  
大谷真知子 エミール・ゾラの『居酒屋』について——食の描写を中心に——  
菊川 淳子 ボリス・ヴィアンの描いた世界——現実と非現実の境界線——  
木村 玲子 ジョルジュ・サンド『愛の妖精』に見る「森」  
中塚 諭美『居酒屋』から『パリ』に至るゾラの思想の変遷と世紀末芸術  
西 ゆき子 Taillevent の *Le Viandier* から読みとる中世の食——素材とスパイスを中心に——  
前田 美樹『失われた時を求めて』——モノクルを通してみる社交界の変容——
- 2. 14 修士論文口頭試問
- 2. 21 大学院入試

### 2) 院生学内研究活動

- 5. 21 大学院春季研究発表会  
修士 2 回生による修士論文にむけての現状発表  
菊川 淳子 ボリス・ヴィアンの作品における非現実性について  
前田 美樹 マルセル・ブルースト Marcel Proust (1871~1922) *À la recherche du temps perdu*——における三人の登場人物を通して見る当時のフランス社会とユダヤ人観を探る——にむけて  
武貞 玲子 J・K ユイスマンスの作品における象徴としての女性  
中塚 諭美 世紀末パリにおける芸術と文学の関わり  
江藤 陽子 エミール・ヴェルハーレン Émile Verhaeren (1855~1916) と高村光太郎 (1883~1956)  
——*LES HEURES CLAIRES* と『智恵子抄』を中心に——  
木村 玲子 ジョルジュ・サンドの『愛の妖精』における「森」  
大谷真知子 19 世紀の階級別にみる食文化の比較  
西 ゆき子 中世にみる食文化  
有富 智世 (研修員) エミール・ゾラの「ルゴン家の運命」——ルゴン・マッカール叢書の源泉としての意義——  
久田原泰子 (D 卒) ユルスナール『沼地での対話』と「能」の関わりについて
- 7. 27 第 1 回院生研究会

- 西 ゆき子 (M2) 中世に見る食文化  
 大谷真知子 (M2) ゴラの『居酒屋』にみる食の場面の分析  
 木村 玲子 (M2) ジョルジュ・サンドの『愛の妖精』にみられる森の存在  
 江藤 陽子 (M2) エミール・ヴェルハーランの *LES HEURES* 3部作を通しての一考察  
 中塚 諭美 (M2) 世紀末にみる芸術間の交流  
 武貞 玲子 (M2) ユイスマンスの女性観と回心の関連性  
 前田 美樹 (M2) マルセル・ブルーストの時代  
 菊川 淳子 (M2) ボリス・ヴィアンと幻想文学  
 新居延悦子 (M1) 科学的実証精神イポリット・テースとエミール・ゴラ  
 西岡 杏奈 (M1) サガンについて  
 高橋 典子 (D3) ネルヴァル『東方紀行』について

## 9. 21 大学院秋季研究発表会

- 西 ゆき子 (M2) *Le Viandier* から読みとる中世の食——素材とスパイスを中心に——  
 木村 玲子 (M2) ジョルジュ・サンドの『愛の妖精』に見る「森」の存在  
 大谷真知子 (M2) エミール・ゴラの『居酒屋』について——作品における食——  
 中塚 諭美 (M2) 『居酒屋』から『パリ』へ——ゴラの思想の変遷とポスター芸術の対応——  
 武貞 玲子 (M2) ユイスマンスの初期作品に芸術が与えた影響——『さかしま』までを中心に——  
 前田 美樹 (M2) 『失われた時を求めて』——モノクルを通して見た社交界の変容——  
 菊川 淳子 (M2) ボリス・ヴィアンの描いた世界  
 高橋 典子 (D3) ジェラルール・ド・ネルヴァル『朝の女王と精霊たちの王ソリマン』について——人物描写を中心に——

## 11. 25 第2回院生研究会

- 高橋 典子 (D3) ジェラルール・ド・ネルヴァルにおける宗教的感情

## 12. 17 修士1, 2回生 フランス祭にて「シャンソン・フランセーズ」の紹介 Café de Étoile——聞かせてよ愛の歌を——

## 3) 2002年度開講科目

- フランス文学特論ⅠA・ⅠB 「Exercices pratiques」P. Devaux 教授  
 フランス文学特論ⅡA・ⅡB 「ボードレールの文学批評Ⅰ・Ⅱ」中堀浩和教授  
 フランス文学演習ⅢA 「Guy de Maupassant 研究」清水正和講師  
 フランス文学演習ⅢB 「エミール・ゴラの小説研究」松島 征講師  
 フランス語学演習A・B 「Introduction à l'ancien français (1) (2)」森本英夫教授  
 フランス文学特殊演習ⅠA・ⅠB 「G. ベレック著『人生 使用法』を読む」酒詰治男教授  
 フランス文学特殊研究ⅡA・ⅡB 「翻訳実践からみた言語と文学」大浦康介講師  
 フランス文学特殊研究ⅢA・ⅢB 「ジャン＝ポール・サルトルを読む」辻昭臣講師

## 4) 院生・在校生学外活動

3. 西野佳衣子 Rencontre Pédagogiques du Kansai (関西フランス語教育研究会) で発表 Réflexions sur le《Team Teaching》日本のフランス語教育におけるティームティーチング——現場からの一報告——  
 6. 有富 智世 日本フランス語フランス文学会春季大会で発表 エミール・ゴラの「ルゴン家の運命」——ルゴン・マッカール叢書の源泉として意義——  
 11. 高橋 典子 日本フランス語フランス文学会関西支部大会で発表 ジェラルール・ド・ネルヴァルにおける宗教的感情

## 5) 在学生名簿 (2003. 2 現在)

酒井 麻実 (D3) 在仏	高橋 典子 (D3)	江藤 陽子 (M2)	大谷真知子 (M2)
菊川 淳子 (M2)	木村 玲子 (M2)	武貞 玲子 (M2)	中塚 諭美 (M2)
西 ゆき子 (M2)	前田 美樹 (M2)	渡辺 綾 (M2)	新居延悦子 (M1)
西岡 杏奈 (M1)			

(研修員)

有富 智世 黒田恵梨子 樋口 まや 小溝佳代子

2002年7月17日 清水正和先生が御逝去されました。院生一同、ご冥福を心よりお祈り申し上げます。